

日本経済新聞

11月30日

月曜日

発行所 日本経済新聞社
 東京本社 電(03)3270-0251
 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7
 大阪本社 電(06)7639-7111
 名古屋支社 電(052)243-3311
 西部支社 電(092)473-3300
 札幌支社 電(011)281-3211

血管治療、人体に優しく

樹脂器具の大量生産技術

新興セルビック

生産設備開発の新興セルビック(東京・品川、竹内宏最高経営責任者)は、人体に優しい樹脂製の血管治療器具を大量生産する技術を開発した。直径2〜5mmのステントは金属製が主流。樹脂製も一部があるが、レーザーによる微細加工が必要で製造コストが高い欠点があった。新興セルビックはトウモロコシ由来の生分解性樹脂「ポリ乳酸」などを射出成型する。金属アレルギーの患者にも使えるなど人体への負荷も小さいという。家電の部品に使う技術を応用した。大量生産して器具の製造コストを下げる。同社はこれまで超小型の射出成型機などを開発してきた。創業者の竹内氏は高度な技を持った技術者を認定する国の「ものづくり名人」に選ばれている。

血管に差し込み内部を広げる「ステント」と呼ばれる治療器具を射出成型で製造する技術を開発した。直径2〜5mmのステントは金属製が主流。樹脂製も一部があるが、レーザーによる微細加工が必要で製造コストが高い欠点があった。新興セルビックはトウモロコシ由来の生分解性樹脂「ポリ乳酸」などを射出成型する。金属アレルギーの患者にも使えるなど人体への負荷も小さいという。家電の部品に使う技術を応用した。大量生産して器具の製造コストを下げる。同社はこれまで超小型の射出成型機などを開発してきた。創業者の竹内氏は高度な技を持った技術者を認定する国の「ものづくり名人」に選ばれている。

製造装置を販売。年間1億円の売上高をめざす。